

Japan Society on Water Environment

水		環		境
企	業	・	研	究
機	関	情	報	誌

2026年1月



公益社団法人日本水環境学会

目次

contents

2026年 水環境企業・研究機関情報誌の発刊について	
	公益社団法人日本水環境学会 会長 亀屋 隆志…………… 1
企業・研究機関情報①	株式会社NJS…………… 2
企業・研究機関情報②	オリジナル設計株式会社…………… 4
企業・研究機関情報③	水ing株式会社…………… 6
企業・研究機関情報④	メタウォーター株式会社…………… 8
企業・研究機関情報⑤	東京水道株式会社……………10
企業・研究機関情報⑥	ヴェオリアグループ（日本）……………12
企業・研究機関情報⑦	いであ株式会社……………14
企業・研究機関情報⑧	オルガノ株式会社……………15
企業・研究機関情報⑨	カナデビア株式会社……………16
企業・研究機関情報⑩	三機工業株式会社……………17
企業・研究機関情報⑪	株式会社神鋼環境ソリューション……………18
企業・研究機関情報⑫	水道機工株式会社……………19
企業・研究機関情報⑬	住友重機械エンバイロメント株式会社……………20
企業・研究機関情報⑭	セントラル科学株式会社……………21
企業・研究機関情報⑮	株式会社ダイキアクシス……………22
企業・研究機関情報⑯	株式会社中央設計技術研究所……………23
企業・研究機関情報⑰	株式会社千代田コンサルタント……………24
企業・研究機関情報⑱	月島 JFE アクアソリューション株式会社……………25
企業・研究機関情報⑲	月島ジェイテクノメンテサービス株式会社……………26
企業・研究機関情報⑳	内藤環境管理株式会社……………27
企業・研究機関情報㉑	株式会社日水コン……………28
企業・研究機関情報㉒	地方共同法人日本下水道事業団……………29
企業・研究機関情報㉓	日本水工設計株式会社……………30
企業・研究機関情報㉔	株式会社日立プラントサービス……………31
企業・研究機関情報㉕	株式会社フソウ……………32
企業・研究機関情報㉖	株式会社明電舎……………33
日本水環境学会年会における学生会員向けの企画について	
	公益社団法人日本水環境学会 産官学協力委員会……………34
	公益社団法人日本水環境学会 団体会員……………36
	公益社団法人日本水環境学会について……………37

2026年 水環境企業・研究機関情報誌の発刊について

公益社団法人 日本水環境学会

会長 亀屋 隆志

SDGs の目標6「だれもが安全な水とトイレを利用できるようにし、自分たちですっと管理していけるようにしよう」では、技術開発やインフラ整備などを通じ、水環境や生態系を適切に管理することによって、2030年までに世界中の誰もが安全で衛生的な水を必要なときに必要なだけ利用できるようにすることが掲げられています。水が人や生物の生命維持に欠かせないことはもちろん、持続的な社会の実現に向けて重要であるとの認識やその課題への取組みはいまや世界標準になっています。これに対し、当会の目的・存在意義は「水域の清浄化等水環境に関する分野の学術的調査・研究の推進及び知識の普及を図り、もって良好な水環境の保全及び創造に寄与し、並びに学術文化の発展に貢献すること」にあります。つまり、水環境を適切に管理できる社会を築き上げていくことは当会の使命です。

当会には、令和7（2025）年3月末時点で、計2,300余の会員がおられます。その構成はバラエティーに富んでいて、個人会員・学生会員や研究機関、民間会社、官公庁、社団法人・財団法人など、幅広い分野の幅広い年齢層が含まれます。特徴的なこととして、毎年約400名程度の学生が年会やシンポジウム、WET会議に積極的に参加しており、そうした活動では産官学の協力が活発に行われています。今般、私たちは、次世代の良好な水環境の保全及び創造を担う学生会員と同分野の現在をリードする産官学セクターの研究者・技術者との連携をさらに深めていきたいと考えています。

本誌は、当会の学生会員の皆さんが、自身の将来の活躍の場をイメージし、キャリアビジョンを構築・具体化していくための一助とすべく、水環境に関わる企業や研究機関の業務の内容や魅力などに関する情報を取りまとめて継続的に発刊しているものです。本誌を通じて、学生会員の皆さんが、社会が求めている水環境の研究や技術と、それを生み出している科学者・技術者や企業・研究機関について知ることができ、近い将来に水環境分野の仕事に携わり、この分野のさらなる発展を通じて持続的な社会の実現に貢献してもらえることを期待しています。

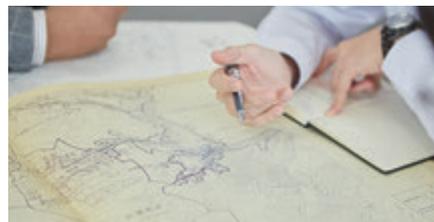
2026年1月吉日

株式会社 NJS

日本で最も歴史のある「水のコンサルタント」です。

NJS は戦後の復興期である 1951 年に上下水道の技術者を養成する私塾として創業して以来、上下水道の事業計画や施設設計を提案している「水コンサルタント」のリーディングカンパニーです。

創業以来、生活に欠かせない安全な水を供給するために、また、良好な水環境を創造するために、全国の上水道施設を設計することにより国土の成長を支えてきました。また、高度経済成長期には、社会的な問題であった公害問題に対して、水処理や水質の専門家として日本中の公共用水域の水質保全に貢献してきました。



上下水道インフラの新たな課題

現在、国内の上下水道インフラは既に高度に整備されています。「水コンサルタント」の役割は終わったのでしょうか？いいえ、高度経済成長期に整備された多くの施設が耐用年数を迎えているほか、少子高齢化の影響を受けて地方自治体の人材不足や財源不足が深刻化しています。また、社会の変化に伴う新たな環境ニーズへの対応が急がれています。さらに、気候変動の影響や巨大地震・津波の発生をうけて、災害対策も急務とされています。そして、課題は国内のみならず、世界の上下水道未普及地域の生活および環境改善も求められています。このように、水インフラは多くの課題を有しています。



NJS は、「健全な水と環境を次世代に引き継ぐ」と掲げ、得意分野である上下水道の計画・設計のノウハウをさらに発展させ、上下水道のライフサイクルを通じた効率的な管理運営を実現するコンサルティングとソフトウェアサービスを提供しています。

課題に対するNJSの取組の一例

【上下水道における省エネルギー対策】

上下水道施設は、機械・電気設備が多用されており、エネルギー消費産業の性格を有しています。施設の省エネルギーを推進するために高効率な電動機・インバータ装置・変圧器など機器の導入や効率的な水運用などのマネジメントの工夫が考えられます。さらに、小規模水力発電や太陽光発電などの新エネルギー導入も有効です。

NJS では省エネルギー、新エネルギーの設備の導入計画策定や施設の設計を行い、地球温暖化防止に貢献する上下水道システムの構築を支援しています。

【廃棄物処理基本計画策定】

循環型社会の実現に向けて、ごみ、し尿・汚泥、排水・汚水等について地域に最適な 3R (Reduce、Reuse、Recycle) と適正処理の総合的な計画を策定します。さらに、エネルギー利用や、廃棄物処理施設以外との連携等も考慮した計画策定支援を行います。そして、今後重要となる廃棄物部門の会計管理など事業運営の分析・計画作成も提案します。

【環境影響評価】

下水処理場やごみ焼却施設等は、生活環境の向上や公衆衛生の確保のために建設されるものですが、周辺環境へ影響が生じる場合も考えられます。そこで、環境への影響を事前に予測・評価し、安全・安心を担保するための支援を行います。

【再生可能エネルギー地産地消計画策定】

バイオマスや太陽光等の再生可能エネルギーは地域に存在するクリーンなエネルギーです。NJS では地域の再生可能エネルギー賦存量・利用可能量とエネルギー需要量の両者の変動を把握し、地域のエネルギーロードマップに応じた需給バランスの取れた再生可能エネルギー地産地消計画の策定を行います。

【災害対策】

地震や豪雨による災害リスクが高まっています。施設の増強による防災対策のほか、被害の軽減を図る減災対策やソフト対策を進める必要があります。NJS は、上下水道施設を中心とした地震、浸水、津波対策の策定や ICT と浸水シミュレーション技術を活用したリアルタイム浸水対策システムを提供しています。



AIを用いた浸水シミュレーション

水インフラの問題解決のプロとして成長してみたい方へ

NJS はもともと水インフラ設計技術者の育成を目的に生まれた会社です。人材育成に関しては大きな自負があります。

より「高い」技術を、という点では教育環境の充実に力を入れています。当社独自のNJS-OJTシステムや技術研修、技術士資格取得支援、そして海外研修を準備しています。また、より「確実に」という点では、新入社員には「どんな風に技術を習うべきか」、指導役の社員には「どんな風に指導すべきか」といった教育にも注力しています。加えて、多様な働き方の実現する制度として70歳定年制、フレックスタイム制、在宅勤務制度や働きがいがあるような公平かつ透明な人事制度があります。「長くモチベーションを保ち続けられる」ことが目的です。

働きやすい環境を整備していますが、最後は自身で段階ごとの「壁」を越えていくことが必要です。最後までやり切る力が一番大切だと思います。初めから完璧を目指し時間をかけすぎてしまうよりは、できる範囲でどんどん進めていくことが大切です。

コンサルタントの事業領域は、時代の要請に合わせて常に広がります。

技術力で水環境の問題解決したい、新しいことに挑戦したい、NJSにはそれを実現できる環境があり、応援する仲間もいます。

NJSは若い方のエネルギーを求めています。



株式会社NJS

■問い合わせ先

株式会社NJS 管理本部 人事総務部 採用担当

TEL : 03-6324-4362 E-mail : saiyo@njs.co.jp

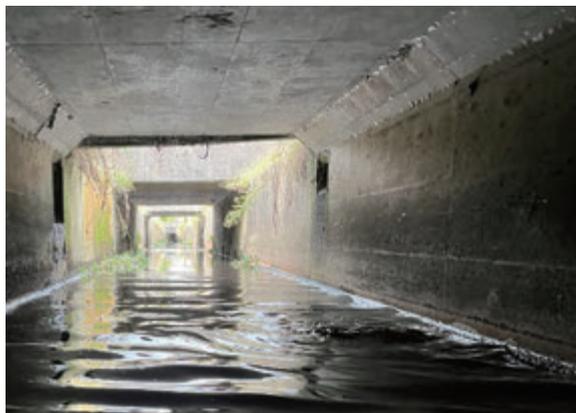
採用情報はこちらから！
エントリー受付中です。



オリジナル設計株式会社

市民生活を支える、地域の「ホームドクター」です

オリジナル設計は上下水道分野を得意としている建設コンサルタント会社です。私たちは様々な社会インフラに支えられて生活していますが、その設備や構造物に関する調査・計画・設計などを行うのが建設コンサルタントの役割であり、人々の生活を支える、なくてはならない仕事です。当社は、主として『上下水道施設』の計画・設計・施工監理や各種の調査を全国の自治体から受注しています。また近年多発する集中豪雨や台風・地震など自然災害への対策だけでなく、実際に起きた災害に対する早期復旧支援なども私たちの仕事です。土木・建築・機械・電気・情報システムなど各分野のプロフェッショナルが協力しあい、自治体が抱えるさまざまな課題を解決するお手伝いをしています。いわば、上下水道に関する地域のホームドクター、それが私たちオリジナル設計なのです。



地域にとっての「最適解」を見つけるのが仕事です



私たち建設コンサルタントの仕事は、エンジニアとしての専門知識をもとに、現状を客観的に観察し、問題点や原因を分析して、顧客や社会のニーズにこたえる最適解を導き出して提案することにあります。私たちは、各自が専門分野を有しつつ関連分野の知識・経験を深め、自身の技術力・人間力を高めながら同時に社会貢献も果たせることにやりがいや誇りを感じています。その活動分野は国内の上下水道事業を基軸として、ASEAN 諸国や大洋州など海外における水環境や衛生環境の改善提案・調査業務にも幅を広げています。

やりがいを感じながら長く働き続けられる環境があります

当社では、社員の能力を最大限に発揮できる組織風土の醸成と職場の活性化を進めています。例えば「社長意見交換会」では、社長自らが全社員と対話し、会社の現況を説明するとともに社員からの改善提案を聞き取り、迅速に実現化を図っています。

また、有休取得奨励日の設定、社内ネットワークのWi-Fi化によるフリーアドレス推進、時差出勤制度や在宅勤務制度の導入など、各個人のライフスタイルを尊重しながら生産性向上とワークライフバランスの両立を図る「フレキシブルワーク」（柔軟性のある働き方）を進めています。さらには、ウェアラブル端末の配付、がん早期発見サポートなどを通じ、従業員の健康管理を経営的な視点で考え戦略的に実践し、「人財」を重視した「ウェルビーイング経営」を行っています。



Our Voice –「水インフラを支える」社会貢献につながる仕事–

大学時代に、尼崎運河の水質改善の研究を通じて水環境に興味を持ち、上下水道施設の設計ができる企業を探しました。

当社は、「フリーアドレス」や「時差出勤制度」など柔軟な働き方を重視しており、仕事と職場環境が自分に合っていると感じました。また、同じ大学の先輩が在籍していたことも安心材料となりました。

私は、主に下水処理場やポンプ場の耐震化設計に取り組んでいます。災害に強い施設を構築することで、社会に貢献できることにやりがいを感じています。業務には、土木・建築・機械・電気など多くの分野の専門家が関わり、各担当者とのコミュニケーションや総合的な判断が重要です。このプロセスを通じて、異なる視点や幅広い知識を吸収できる点も魅力です。また、自分の設計や提案が顧客に認められることが達成感につながります。将来的には「この人に聞けば間違いない」と信頼される人材を目指しています。

入社前は建設コンサルタントに堅苦しいイメージを持っていましたが、入社後はゴルフやマラソンなどのイベントに参加し、楽しく過ごしています。また、自分から誘うこともあり、社内の交流を深めています。さらに、当社は「健康経営」の一環としてアップルウォッチを活用した運動イベントを実施しており、日々の運動意識が高まり健康維持につながっています。定期的な女子会や若手向けの企画もあり、非常に過ごしやすい職場環境だと感じています。



Our Voice –自分らしく働ける職場–



学生時代、土木・建築を勉強している中で、私たちの生活基盤を支えているインフラの中で一番身近な「水」に関わる仕事に携わりたいと思い、当社に興味を持ちました。インターンシップ見学で訪れた際は、事務所が綺麗で明るく、女性もバリバリ働いているのを見て自分が働くイメージが湧きました。

当社で日々感じていることは、私生活とのバランスを考慮した仕事のやり方ができる職場であるということです。私自身、在宅勤務、時差出勤、カスタムメイド勤務（業務・成果に支障のない範囲で全国どこでも働ける制度）を利用しています。私がこのような働き方ができるのは、制度はも

ちろん、私個人の考え方を理解し親身に対応してくれる上司がいてくれるからです。ここは他の会社では少ない強みだと思います。

私が担当している仕事は主に、下水処理場やポンプ場施設の機械設計業務です。老朽化設備の更新にあたり、実績・維持管理者の要望から様々な設計諸元、他職種との関連等多面的に検討する必要があるのですが、理解しなくてはならないことが多く大変ですが、その処理場に合った機種を検討を行う作業はマニアックで奥深いので面白さを感じています。自分が決めた設備が実際に処理場に設置され、水処理工程を支えていることは嬉しかったですし、達成感がありました。まだまだ勉強中ですが、いずれは機械職のプロフェッショナルとして活躍する人材になりたいです。

OEC オリジナル設計株式会社

■問い合わせ先
新卒採用担当
TEL : 03-6757-8801

E-mail : shin_saiyou@oec-solution.co.jp
URL : <https://www.oec-solution.co.jp/6recruit/>



人は財産

水ing株式会社

多くの実績と信頼される技術力で事業展開

当社グループ（水ing株式会社、水ingAM株式会社、水ingエンジニアリング株式会社）は、公共水インフラを中心とした様々な水処理施設に関わる設計、調達、建設、研究開発、運転維持管理、メンテナンス、薬品開発など、90年以上にわたる多くの実績と信頼される確かな技術力を保有しています。

全国各地における水インフラの課題解決に貢献

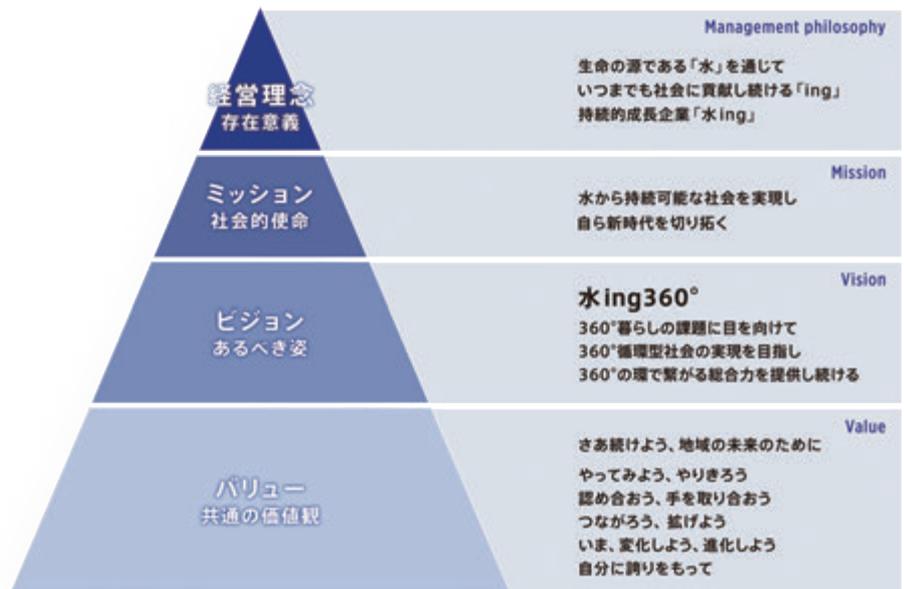
現在、日本の水インフラは「人口減少」「施設の老朽化」「財政難」「技術者不足」など、様々な課題を抱えています。当社では民間主導型の公民連携水道事業会社「水みらい広島」「水みらい小諸」の設立などで、その課題解決に挑戦してきました。

また、全国およそ300か所の水処理施設の多様なデータや指標を活用したAI・IoT技術と、施設の建設とその運転・維持管理で培ったエンジニアリング技術を掛け合わせた新システムの開発・資源循環などで、地域のために貢献し続けています。

企業理念体系(水ingバリュー)

「経営理念」「ミッション」「ビジョン」「バリュー」の4つで構成されており、経営理念のもと定めたミッション（社会的使命）および、その達成のビジョン（あるべき姿）を、バリュー（共通の価値観）を駆動力として追い求めます。

水ingグループでは、誰もがどんな場面でも「水ingバリュー」を体現することを目指しています。



水ing 企業理念体系

30年後、街づくりまで担う「水」のプロ集団へ変革

当社グループでは、2020年度より30年後の社会をイメージした「水ing360°」をビジョンに掲げました。これは、2050年には様々なステークホルダーと連携し、「水」を起点にした循環型社会を掲載する、つまり「水道・下水道などのインフラが無ければ、街や地域は消滅してしまう、だからこそ「水」を中心とした新たな街づくりに貢献していこう」というものです。

この実現のために何よりも大切なのが、当社グループの最大の資産である「人」の育成です。内定期間中の課題提出に始まり、入社後の集合研修、配属後のOJT研修やフォロー研修、キャリア支援などを通じて社員の能力や知識の向上を支援しています。



水 ing エンジニアリング株式会社
PE 技術第一統括部 PE 技術四部
外川 駿介さん

現在、民間企業向けの排水処理プロセスの設計担当をしており、食品工場から水族館まで多様な業種に合わせたオーダーメイドの提案を行っています。統一の設計基準がないため、顧客との調整がとても重要ですが、その分、自分の提案が形になったときは大きな達成感を得ることができます。

学生時代は、主に「環境中の物質分析」をテーマとした研究をしていました。情報収集力や見えない課題を想像しながら、取り組む姿勢を培うことができたと思います。現在の業務でも、現地調査で得た情報をもとに様々なリスクを想定しつつ、より良い提案を推敲していく過程で、経験が生きていていると思います。

水 ing を志望した理由は、総合的な提案力を持っている点でした。自社の研究開発部門があり、必要な解決策を生み出すことができる点、また、インターンを通じ、多様な専門部署が連携する環境に魅力を感じました。入社後もこの連携を強く感じており、他部署と関わる機会は豊富だと思っています。今後はこの環境を活かしながら、電気や工事など他分野も理解し、さらに専門分野外も含め案件全体を把握できるオールラウンダーを目指したいです。

今、就活生にアドバイスするとしたら、「専門分野にこだわりすぎなくて大丈夫」と伝えたいです。当社グループなら、学ぶ機会は入社後も多くあります。また、できるだけインターンに積極的に参加することをお勧めしたいです。文字では伝わり切らない企業の雰囲気もつかめて、就活のモチベーションアップにも繋がるからです。ぜひ、水 ing グループと一緒に地域や社会に貢献していきましょう！

水 ing 株式会社
企画開発本部
基盤技術研究センター
丁 青さん



私は現在、脱炭素や資源循環に関わる水処理技術の研究開発を担当し、膜濃縮技術や下廃水嫌気発酵、スーパーワームなどを活用した汚泥減容など、未来の水処理を支える基盤技術づくりに取り組んでいます。

学生時代は、主に造船について学んでいたのですが、途中で水処理分野に転向し、国内外で膜の過や水処理に関する研究を重ね、問題発見力や実験設計力を養いました。

水 ing を選んだ理由は、研究領域の広さと自由度が高いと感じたからです。また、現場に根ざした技術の社会実装力にも魅力を感じています。「研究で終わらない技術開発」が徹底されている点も大きな特徴だと思いますし、新しい挑戦を歓迎する社風に魅力を感じています。研究成果が実際の課題解決につながった時には大きな喜びを感じ、自分の研究が社会の役に立っていると実感します。今後も研究者として課題に向き合い、次世代型水技術の発展に貢献したいと考えています。

水処理の研究・技術開発は、社会の根幹を支える非常に重要な仕事です。これからは AI・新素材・生物学が融合し、大きな変革が起きる時期でもあります。専門が違っていても、これまで学んできた力や姿勢は必ず活かせると思います。社会の役に立つ仕事がしたい、自分の技術で未来を変えたい、インフラを支えたい。そんな方には、水 ing は最適な職場環境だと思います。興味を持ったことにぜひ挑戦し、自分の可能性を広げて欲しいと思います。

水 ing 株式会社

■問い合わせ先
採用・研修部
TEL : 03-4346-0603
E-mail : saiyo@swing-w.com



メタウォーター株式会社

会社紹介

メタウォーター株式会社は2008年4月に、日本で最初の水・環境分野における総合エンジニアリング企業として設立しました。以来、人々の生活や産業になくてはならない「水」に携わる企業として、機械技術、電気技術、ICT、AI、プラントの運転・維持管理ノウハウを融合し、国内外の上下水道、資源リサイクルの各分野で事業を展開するとともに、環境保全や地域貢献の取り組みを進めています。

また、長期ビジョンとして

- ◆ 「一緒に仕事をしたい会社 No.1」
- ◆ 「技術・サービスで No.1」
- ◆ 「働きたい会社 No.1」

を掲げ、世界の水環境の改善・持続に貢献できる企業を目指します。



先輩社員の声

■大学院で生活に密接な都市人間環境学を専攻、浄水処理の「膜ろ過」を研究

大学院では、都市人間環境学を専攻し、水循環を総合的に研究できる「水代謝システム研究室」に所属していました。私は「膜ろ過」の研究に取り組みましたが、浄水処理の基礎も体系的に学べたので、その知識は入社後の仕事にも活用できています。

同専攻では、エネルギーや水資源、まちづくり、あるいは心理統計など、都市や環境の問題について幅広く学べます。そういった人々の生活に密接に関わる研究をしたいと思って専攻しました。浄水処理を選んだのは、授業を通じて水業界が抱える問題や課題を知り、興味を持ったからです。



R&D センター 先端技術開発部
新事業技術開発グループ
(中央大学 大学院 都市人間環境学専攻 修了)

■人々の生活の役に立つ技術・製品を開発できる期待感からメタウォーターに入社

大学院で膜ろ過の研究をしていたこともあり、水業界の技術・開発職を志望しました。メタウォーターを知ったきっかけは、業界の企業を調べる中で真っ先に目に留まったからです。また各企業の方々からお話を伺える機会があり、メタウォーターはPPP*事業に力を入れていることを知って、さらに関心が高まりました。そこでインターンシップにも参加し、OB・OGの先輩社員から会社や仕事などの話もお聞きし、「自分が開発した技術や製品が人々の役に立っているところを見たい。メタウォーターならきっと実現できる」という期待感から入社を決めました。

* Public Private Partnership：公民連携

■オゾン処理の将来を見据えた開発に従事

私は現在、千葉県市原市に拠点がある新事業技術開発グループに所属し、オゾンを使って微量汚染物質を分解・除去する技術開発に取り組んでいます。医薬品成分や難分解性の化学物質は、通常の処理工程では除去が難しく、川や海への流出や地下水への混入が大きな環境課題になりつつあります。私はこれらの微量汚染物質をオゾンの力でいかに効率的に処理するか、その手法の確立を目指しています。特に水道水や井戸水への混入が懸念される物質の中には、オゾン単体では完全に分解しきれないものが存在します。そうした物質は、通常、活性炭などを用いて吸着させて取り除きますが、その前段でオゾン処理をすることにより、後段の吸着処理の効率が上がるという研究報告があります。この現象に着目し、オゾン処理を組み合わせることで、吸着剤がより多くの物質を効率よく吸着できるようになる仕組みやその有効性について、調査を重ねています。



■異業種のエンジニアリング会社を訪問、オゾンの新たな可能性に気づいた貴重な経験

オゾンによる医薬品成分処理のニーズを掘り起こす目的で、営業・設計担当と一緒に、病院排水処理に携わるエンジニアリング会社にヒアリングに伺う機会がありました。きっかけは、私の開発テーマを知った設計担当から「新しい適用先を探すためにコラボレーションできないか」と相談されたことです。訪問先は異業種の企業でしたが、私の研究に関心を持ってくださるとともに、全く想像もしていなかったオゾンの可能性に気づくヒントもいただけました。新しい開発テーマの「ひらめき」にもつながる新鮮で、貴重な経験になりました。

■“1時間単位”の休暇取得も可能！ 柔軟な働き方ができる制度が充実

開発という仕事の特性上、私は基本的に出社しています。ただ報告書作成など、事務作業が多いときはリモートワークも活用します。出社勤務でも当社の場合、時間単位で休みが取れる制度（時間単位年休）があり、半日休暇（半休）はもちろん、1時間単位の休暇も取れるので、所用で一時的に離席（中抜け）したり、仕事を1～2時間だけ早く切り上げたりといった使い方もできます。また所定労働時間の短縮も進んでいますし（2025年現在、7.0時間）、フルフレックス制度などもあって、とても柔軟な働き方ができる会社だと思います。



■開発中のテーマを技術や製品にして浄水場に導入したい

目標は、現在の開発テーマを浄水場や下水処理場などで実際使われる技術として世に送り出すことです。例えば、医薬品成分をオゾン処理で分解できる装置を設計・製造し、病院や医薬品製造工場の排水処理プラントに組み込んで販売される段階まで持っていきたい。欲を言うと、開発した装置や知見について特許も取得できたらと考えています。

■生活に不可欠な技術・製品を生み出すことに魅力を感じたら、ぜひ入社してほしい

私が働くモチベーションにもなっているのですが、水業界では、私たちの生活に必要な不可欠な技術・製品を生み出すことができます。そして、将来のニーズまで見据えた研究ができるメタウォーターの仕事にやりがいを感じています。このような水業界の仕事に魅力を感じた方はぜひ、入社してほしいです。

METAWATER

続ける。続くために。

■問い合わせ先

メタウォーター株式会社 採用担当

TEL : 03-6853-7327

E-mail : saiyou@metawater.co.jp



東京水道株式会社

東京水道株式会社とは

東京都水道局と当社は、対等なパートナーとして「東京水道グループ」を構成し、一体となって都の水道事業を支えています。当社は、都より委託された技術系・営業系の業務を担っており、今後も業務移転の拡大に伴い、その役割はより一層重要なものとなっていきます。都と連携した人材交流や共同研修、災害発生時の対応などを通じて、「東京水道グループ」の経営基盤や総合力の強化に貢献します。これにより、将来にわたり、安全でおいしい水の安定供給を実現していきます。

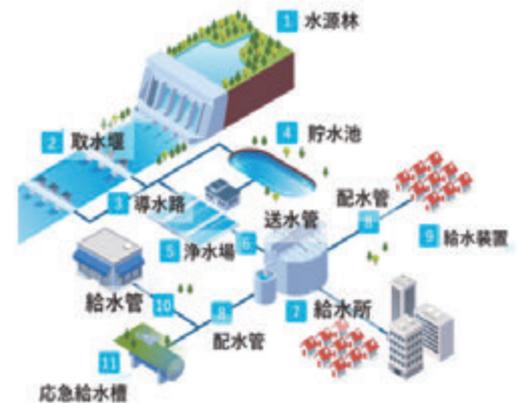


東京都の水道概要

水道水の供給エリアは東京 23 区および多摩地区 26 市町に広がっています。給水区域は 1,239km²、給水人口は約 1376 万人にのぼります。また、東京都の配水管の総延長は 27,520km となっており、地球の三分の二周の長さに相当します。

事業領域 ～水源から蛇口まで～

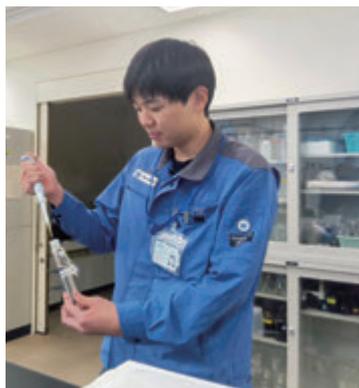
当社は、水道の水源となる水源林の保安全管理から始まり、川の水を引き入れる取水堰、導水路の管理、水をつくり、貯める浄水場・給水所の運転管理や設備管理、水を配る管路の設計・工事監督・維持管理、そして各家庭に繋がる給水管や水道メーターなどの給水装置業務までを担っています。24 時間 365 日、安全でおいしい水を安定的に供給することを使命とし、豊かな社会の実現に貢献しています。



事業領域図（水源から蛇口まで）

アピールポイント

- 日本最大級の水道トータルサービス会社
水道技術・お客様サービス・IT の分野を一社で担い、東京の水道を支えています。
- 東京都が出資する企業で、安定性は抜群
公共性の高い事業を担う企業として、長期的な安心感があります。
- 今後も東京都水道局から業務が順次移転予定
事業規模の拡大に伴い、より重要な役割を担い成長し続けます
- 勤務地は原則として東京都内。転居をとまなう異動なし
生活基盤を安定させながら、長く働ける環境です。
- 充実した待遇と福利厚生で、「ライフワークバランス」も良好
社員住宅や休暇制度など、働きやすさを支える制度が整っています。



水道技術本部
浄水管理部 長沢事業所
水質管理グループ
福地 昂大さん

大学では水環境学を専攻し、水道水における微生物と有機物成分の関係について研究していました。学びを通じて、水道事業が人々の暮らしを支える大切なインフラであることを実感し、卒業後はその分野で自分の力を発揮したいと考えようになりました。東京水道を志望した理由、東京都の浄水場で水質管理に直接携われるという業務内容に大きな魅力を感じたからです。

入社後は長沢浄水場に配属されました。長沢浄水場は、東京都水道局が初めて業務を包括的に委託した浄水場です。事業所全体が一丸となって運営に取り組む現場に立ち会えたことは、私にとって貴重な経験になっています。

私が担当している水質管理業務は、水質検査や水質計器の計測データをもとに、浄水処理が適切に行われているかを確認し、結果を浄水処理条件にフィードバックすることなどを担っています。「安全でおいしい水道水を安定供給する」という使命をもって、他の分野の技術職の方々とも連携しながら、チームで浄水場を運営することによりやりがいを感じています。東京の暮らしを支える水インフラに関心のある皆さんに、この仕事の魅力が伝われば嬉しいです。

管理本部
事業戦略部 技術調整課
桑山 信太郎さん



大学で土木工学を専攻し、インフラの重要性に関心を深めました。特に、人々の生活に欠かせない「水道」というインフラに携わることで、社会貢献ができる仕事に魅力を感じ、東京水道へ就職を志望しました。また、生まれ育った東京のために働きたいという思いも強く、入社を決意しました。

入社後最初の6年間は、配水小管の設計業務に従事しました。施工予定箇所へ何度も足を運び、現場の状況を把握するとともに、設計コンサルタント等と協議を重ね、設計図の作成や積算を実施してきました。現在は、管理本部において東京都水道局からの受託業務を円滑に遂行できるように、社内関連部署等との調整や体制構築などを行っています。また、社内のDX推進も担当し、業務効率化に向けた施策にも携わっています。これらの業務を通じて、水道に関する知識やコミュニケーション能力が向上したことを実感しています。

日々の業務では、都民生活を支える仕事ができることに大きなやりがいを感じています。加えて、当社は社員住宅や休暇などの福利厚生も充実しており、ライフワークバランスの良さも魅力の一つです。水道事業に携わりたい、東京で社会貢献したいと考えている方が、当社に興味を持っていただけたら幸いです。



東京水道株式会社

■問い合わせ先
人事部 採用課
TEL : 03-3343-4562
E-mail : tw-recruit@tokyowater.co.jp



ヴェオリアグループ(日本)

世界最大規模の環境ソリューション企業としてインフラを支え、社会貢献に取り組んでいます

ヴェオリアはフランスを拠点としてグローバルでビジネスを展開する総合環境ソリューション企業です。日本では水、廃棄物処理、エネルギーという三つの分野でビジネスを展開しています。2002年の設立以降、グローバルで培われた経験やネットワークと、グループ各社がそれぞれの事業分野で培ってきた技術及び地域社会からの信頼を礎に、全国各地でサービスを提供し続けています。現在では、全世界で1億1,100万人に水道サービス、9,800万人に下水処理サービスを提供し、また4,200万MWhのエネルギーを生産し、6,500万トンの廃棄物を処理しました。(2024年実績)



ヴェオリアのパーパス(存在意義)とミッション



「エコロジカル・トランスフォーメーション（環境変革）とは人類の進歩と環境保全を両立させるために行動することです。」

私たちはこのパーパスを常に念頭におきながら、日々の事業活動を行っています。

パーパスをすべての活動の中心に置き、ステークホルダーである地球環境、地域社会、株主、顧客、従業員のために行動します。

水、廃棄物、エネルギーの各事業において、地域社会や環境、将来世代とも利益を共有できる持続可能なソリューションを、ステークホルダーと共に創造することに取り組んでいます。

資源消費型の社会から、今日の循環型社会に転換するため、ヴェオリアは資源の利用方法を開発・進展させ、同時にその資源を保全・再生するソリューションを設計・導入しています。

ヴェオリアとその従業員は、このようにして Resourcing the World（地球を資源で満たす）というミッションに貢献しています。

「水インフラ」を通して、“あたりまえ”の毎日を支える

ヴェオリアの原点であり、主力ビジネスである「水」の事業では、「蛇口をひねれば水が出る」「汚れた水をきれいにして自然に還す」など、私たちの暮らしの“あたりまえ”を支えています。

自治体のお客さまには、浄水場および下水処理場の運転維持管理、プラント工事、管路管理、顧客サービスまで、水サイクル全体に対し包括的なソリューションを提供しています。

民間企業のお客さまには、産業用水や排水処理設備の設計・施工から運転管理まで、お客さまのニーズに応じてカスタマイズされたサービスを展開しています。環境規則を遵守しつつ廃水設備の運転を最適化し、水の再利用でコスト削減と環境負荷低減を両立します。水のサステナビリティに配慮したソリューションを提供することで、企業の競争力強化と環境目標の達成をサポートします。

国内外での豊富な実績と最新技術を組み合わせ、お客さまの水に関する課題解決に取り組んでいます。



地域に根ざした活動

当社は、地域の安全や環境を守ることを企業活動の重要な一環として位置づけ、積極的に地域活動に取り組んでいます。日頃から清掃活動への参加や給水車操作訓練を実施しています。

有事の際に事業者と協力して災害対応を行うことは、委託業務を行う事業者としての責務であると考えています。災害協定等に基づき、広報・電話対応のほか、必要に応じて応援人員や加圧式給水車を派遣し、応急給水活動等を支援します。

特に、大規模災害や渇水発生時において、人命救助と飲料水の確保、そして衛生の確保が何よりも必要になると考えております。そのため、自治体等との災害協定の締結を行い、給水車の導入、可搬式水処理装置のMBBRパックやポンプなどの設置、運用ができる体制を整えています。ヴェオリアグループは、今後も地域におけるインフラを支える企業として、その役割と責任を果たすべく、自治体や地域の皆さまと協力しながら活動してまいります。



一人ひとりの成長を支える充実のサポート体制



当社はダイバーシティを重要視し、従業員一人ひとりの個性を大切にする企業です。また、個人のスキルとポテンシャルに応じた評価を通じ、能力を最大限に活かすための研修を多角的なアプローチで実施しています。

また新入社員のみなさんには、入社後早期に現場で活躍できるよう、チューター制度を導入しています。先輩社員と定期的かつ継続的に交流し、業務の進め方だけでなく、働く上での困り事などについても相談に応じ、社会人生活を全面的に支援します。この他、一部の若手従業員向けにメンター・メンティー制度を導入しており、自身のスキルの棚卸しやキャリアプランについて考え、助言を受ける機会を設けています。さらに他部署の先輩社員とのネットワーキングを通じ、多様なロールモデルに触れることで、自身のキャリアをイメージし、具現化することをサポートします。

学生へのメッセージ

ヴェオリアグループは部門の垣根を超えた関係性を築きやすく、フラットな社風が魅力です。どの職種においても、プロフェッショナルとして経験値を高めることができます。

自分の特性を活かせる職場で成長できる環境が整っており、世界中のヴェオリアが働くフィールドとなります。当社では、全従業員に“自分らしさ”を大切にして働いてもらうことを重要視しています。みなさんと一緒に働くことを楽しみにしています。



■問い合わせ先

ヴェオリア・ジャパン合同会社 新卒採用担当

E-mail : jp.hrs.vwj.recruit.all.groups@veolia.com

URL : <https://www.veolia.jp/ja/recruit/top>



ヴェオリアグループ（日本）では、ヴェオリア・ジャパン合同会社、ヴェオリア・ジェネッツ株式会社、株式会社西原環境、フジ地中情報株式会社で新卒採用を実施しております。

いであ株式会社

“暮らしと環境を支える” いであのサービス

当社は、安全・安心で快適な社会の持続的発展と、健全で恵み豊かな環境の保全と継承を支えることを通じて、自然と社会が調和した新しい未来の実現に貢献しています。

皆さんも「いであ」の一員として社会課題の解決に取り組んでみませんか？

“安全・安心で快適な社会を支える”

社会インフラの老朽化や、近年頻発する自然災害への対応など、社会基盤整備においては、真の安全・安心な社会の構築に向けた取り組みが求められています。当社は、社会基盤整備において、計画・調査から、設計、対策、維持管理を行い、安全・安心で快適な社会の実現に向けて取り組んでいます。

“健全で恵み豊かな環境の保全や継承を支える”

近年、従来の環境問題に加え、地球温暖化、生物多様性の減少や、マイクロプラスチックによる海洋汚染、新たな化学物質問題など、環境問題はますます複雑・多様化し、グローバル化しています。当社は、わが国の環境コンサルタントのリーディングカンパニーとして、企画・調査から対策立案までを一貫して行い、さまざまな環境問題の課題解決に取り組んでいます。

“人々の健康や暮らしを支える”

当社は民間初の気象予報会社として、気象予報や防災情報、健康予報など、気象関連情報を提供し、人々の健康や暮らしを支えてきました。今では、人を取り巻く環境から食の安全・安心を支える食品の衛生関連検査や機能性評価、さらには癌をはじめとする難治性疾患の診断・解析、万能細胞の解析から創薬支援など、最先端の生命科学分野への展開にも取り組んでいます。



親水公園の計画・設計



ROVによる水中調査

人を育てる社風、働きやすい職場づくり



社会から信頼される企業として、当社のサービスを実現するためには、なによりも企業を構成する「人」の成長が欠かせません。当社では「人としての成長」「技術者としての成長」の二つを掲げ、キャリアに応じてしっかりサポートできる研修制度を設けています。

働きやすい職場づくりへの取り組みにも積極的に取り組んでおり、これまで「健康経営優良法人2025」「くるみん」「えるぼし」に認定されました。女性だけでなく、職員みんなが働きやすい職場になるよう、日々、社員と意見交換しながら職場環境の改善を進めています。



■問い合わせ先

管理本部 人事部 採用担当 日比

TEL : 03-4544-7600

E-mail : recruit-quay@ideacon.jp URL : <https://www.ideacon.co.jp/>



オルガノ株式会社

総合水処理エンジニアリング

オルガノは「水で培った先端技術を駆使して、未来をつくる産業と社会基盤の発展に貢献するパートナー企業としてあり続けます」を経営理念に、地球という惑星に与えられた命あるものすべてに共通の財産である水とともに、水を理解する心と、水を生かす技術を大切に育み続けています。生命の源「水」がもたらす恩恵を、社会の基盤づくりから先端産業、そして毎日の暮らしの中へ届ける水処理の総合エンジニアリング企業として、美しい地球環境との共存と共生に貢献しています。

またオルガノは創業以来水処理技術を磨き、多種多様なものづくりの現場に、求められた「水」を提供することで、日本の産業発展を支えてきました。

今ではオルガノの事業の9割は、“社会”と関わりが深い産業分野の売上が占め、電子機器、発電所、医薬、化学製品、食品など様々な工場でオルガノの水処理技術が活躍しています。オルガノはこれからも社会にとっての「水」の価値を高め、「水」の在り方と可能性を模索し続けます。



日々の生活と産業の発展をサポート—オルガノの事業分野—

1. 水処理エンジニアリング事業

大型水処理プラントを工場、発電所、浄水場などに建設するプラント事業と、プラント納入後のメンテナンスや改造、運転管理に関わるソリューション事業があります。

プラント事業では、EPC（Engineering：設計、Procurement：調達、Construction：建設）の遂行能力が求められます。世界中から最適な製品、技術を結集し、時には自ら新しい技術を生み出していくことで、お客様が求める「水」を提供します。お客様が求める「水」やプラントの立地条件は毎回変わるため、オーダーメイドで製品を提供します。

2. 機能商品事業

キャビネット型やデスクトップ型など中小型の純水製造装置や排水処理ユニット、イオン交換樹脂、高機能膜等の機能材、水処理薬品、食品添加物などの製品を販売します。レディメイドの製品を扱い、お客様ニーズを先取りした製品を提供します。

水で世の中に応える

上下水分野のみを手掛ける会社、純水だけを扱う会社、排水処理だけを扱う会社、水処理膜を製造する会社、ポンプを製造する会社など世の中に水ビジネスに関わる会社は多数ありますが、オルガノは純水から排水まで、プラントから小型水処理装置、水処理薬品まで水処理業界で幅広く活躍しています。

私たちは水の在り方をサイエンスとテクノロジーで追求し、産業、生活、研究など様々な分野に「水」の提案を行っています。

皆さんも私たちと「水」の可能性に挑戦してみませんか。



オルガノ株式会社

■問い合わせ先

経営統括本部 人事部 採用担当

E-mail : organo-saiyou@organo.co.jp URL : <https://www.organo.co.jp/>



カナデビア株式会社

「カナデビア」ってどんな会社？

技術の力で、人類と自然の調和をめざして

カナデビアグループは、「技術の力で、人類と自然の調和に挑む」というブランドコンセプトのもと、「脱炭素」「資源循環」「安全で豊かな街づくり」という3つの事業分野でグローバルにビジネスを展開しています。水処理事業の分野では、汚泥再生処理センターをはじめ、上下水道、産業排水処理システムなどの設計・施工を行っており、国内だけでなく海外にも実績があります。このような事業を通じてサステナブルな社会を実現するために、当社はさまざまな社会課題の解決に貢献しています。



高い技術力とチームワークでプロジェクトを完遂する



し尿や浄化槽汚泥を処理する汚泥再生処理センターでは、固形物や水質汚濁物質が多量に搬入されるため、それらを処理するためには高い技術力が求められます。当社は日本で初めてし尿の無希釈処理を可能にした独自システムを開発し、汚泥再生処理センターの設計から完成まで一貫して取り組んでいます。

水処理事業のお客様は自治体や民間企業など、多岐にわたります。お客様やコンサルタントの方と入念に打合せし、さまざまな要望や処理する廃水の特性を考慮してオーダーメイドで施設を設計、施工します。受注から完成まで2～

3年ほどかかる施設もあるため、粘り強く社内外と調整しながら担当業務をやり遂げる力が求められます。部署の垣根を越えたプロジェクトチームが一体となり、完成に向けて日々業務に励んでいます。



デッカい社会科見学
「デッカい水処理」篇

一人ひとりにしっかり向き合いながら、世界に通用する人材へ

水処理事業の関連部署には若手社員が多く在籍しています。入社後2年間は新入社員一人ひとりに指導員がつき、実務を通じた指導により実践的な知識やスキルを身に付けることができます。

当社は長い歴史と実績を積み重ねてきましたが、さらに飛躍していくためには既存のノウハウや考え方にとらわれない新たな視点・発想が欠かせません。世界的な環境問題の解決に向けて、熱意をもって取り組んでいける方と一緒に働けることを楽しみにしています！



Kanadevia カナデビア株式会社

Technology for people and planet

■問い合わせ先

人材採用部 新卒グループ

TEL：0120-46-7518 / 06-6569-0019

E-mail：hq-saiyo@kanadevia.com



三機工業株式会社

サステナビリティ経営を推進します！

三井グループの主要企業の1つとして設備業界を牽引してきたリーディングカンパニーであり、1925年の創業以来、社会インフラにかかわる多様な要素技術を活かして社会に貢献する企業です。水処理施設、廃棄物処理施設などの環境システム事業をはじめ、ビル空調、産業空調、電気、スマートビルソリューション、ファシリティシステムなどの建築設備事業、コンベヤ、搬送システムなどの機械システム事業を行っています。



多岐にわたって展開する事業そのものが、世界的な潮流であるサステナビリティの追求に合致していると認識しており、サステナビリティ方針を定めるとともに超長期ビジョン「2050年の姿 選ばれ続ける三機へ！」を掲げました。

多様な人財が能力を発揮する働きやすい職場へ！

当社が創るものは、一つとして同じものはありません。まさにすべてがオーダーメイドの世界です。お客さまからいただいた仕事を通して、お客さまの潜在的ニーズでもある社会の課題を解決しています。そのため当社では、コミュニケーションを重視して「人財」を育て、その能力を最大限に発揮できる働きやすい職場環境づくりを行っています。

国籍や性別にかかわらず多様な能力や個性を持つ人財の採用に取り組んでおり、8か国121名が在籍しています。人事制度を改正し、定年延長や定年後再雇用制度や職種転換制度だけでなく、ハンディキャップをお持ちの方や女性が働きやすい職場環境を整備しており、子育てサポート企業として「くるみん」など多くの認定をいただいています。

大きなプロジェクトに関わる機会もたくさんあります！

（世界初稼働の過給式流動焼却炉）

東京都日野市にある浅川水再生センターに、世界初稼働となる当社の「ターボ型（過給式）流動焼却炉」が導入されました。このシステムは、国立研究開発法人土木研究所、国立研究開発法人産業技術総合研究所、月島 JFE アクアソリューション株式会社と共同で研究開発したもので、従来システムに比べ、電力消費量を約 60% 削減する画期的なシステムです。



（南極地域観測隊への隊員派遣）

「環境保護に関する南極条約議定書」が採択された 1991 年以来、当社は日本南極地域観測隊の環境保全担当および機械担当として 22 人の技術者を派遣するなど、我が国の南極観測を支援してまいりました。南極昭和基地ではさまざまな観測が行われ、日々生活する中で廃棄物や汚水が排出されます。当社の技術者はこれらの実態調査をはじめ、廃棄物調査・計量、汚水量・水質調査、汚水処理装置の設置・維持管理などに従事してきました。

「自分が創ったものを残していきたい」、「モノづくりに携わりたい」という強い意志を持った方は、ぜひ当社で自らの可能性を広げ、大いに活躍していただきたいと思えます。



■問い合わせ先

ホームページ <https://www.sanki.co.jp/>

エントリー：マイナビまたはリクナビからエントリーをお願いします。



株式会社神鋼環境ソリューション

カーボンニュートラルのトップ企業を目指して

神鋼環境ソリューションは、浄水場や下水処理場、ごみ焼却施設などを建設するプラントエンジニアリングメーカーです。皆さんはこれらの施設そのものを日常的に意識することは少ないかもしれませんが、当たり前な生活を継続するためには無くてはならない社会インフラです。当社はエンジニアリングで社会の“当たり前”を支えています。

昨今、カーボンニュートラルに向けた動きが加速しています。当社は、長年培ってきた経験に、新たな技術や知見を組み合わせることで、2030年度事業像として掲げた「カーボンニュートラルのトップ企業」を目指しています。

事業紹介 ～幅広く水に関わる事業を展開～

キッチン、お風呂、トイレなどで毎日使っている「水」。その水は、浄水場でつくられ、私たちの暮らしに届けられています。また、使用した後の水＝生活排水は、最終的に下水処理場で適切に処理され、河川や海へ放流されています。当社は、上水、下水に加え、浸出水や産業用水処理、工業用・地域冷暖房用冷却塔など、幅広く水に関わる事業を展開しており、エンジニアリング（設計、建設、運転・維持管理）を通じて、安全でおいしい水の供給や豊かな水環境の保全に貢献しています。



カーボンニュートラルの実現に向けた取り組み

当社はカーボンニュートラルの実現に向け、水処理の過程で発生する汚泥やこれまで有効利用されてこなかった地域バイオマスの有効利用にも積極的に取り組んでいます。下水汚泥や食品工場などで発生する食品残渣などの有機性廃棄物をメタン発酵させ、発生したガスをボイラの燃料やエンジンでの発電に利用しています。

また、汚泥を炭化する施設を複数建設し、火力発電所やボイラを保有する工場などで石炭代替燃料として利用いただくプロジェクトも推進しています。

若手のうちから挑戦できる環境

当社が手掛ける環境プラントの建設には、機械、材料、流体、熱、電気、化学、生物、土木、建築・・・など、幅広い専門知識や技術力が必要とされます。最初から最後まで全てを一人で完結できるような仕事ではなく、社内外の多くの専門家と協力・連携することが不可欠です。

当社は、学生時代の専攻は不問としています。業務で必要となる知識は、入社後に研修や実務を通じて学ぶことができます。また、入社後2年間は、比較的年齢の近い先輩社員がエルダーとしてマンツーマンで指導します。エルダーをはじめとしたチームのサポートのもとで、若手社員にも大きな仕事を任せっていく方針を採っており、裁量を持って仕事・プロジェクトに挑戦することができます。

福利厚生・制度面では、寮・社宅、在宅勤務、フレックスタイム、キャリア継続休職制度、ドレスコードフリー、カフェテリアプランなどを導入しており、生活が安定し、自分らしく働くことができる職場環境づくりに取り組んでいます。



Keep the Earth Sky-blue

株式会社神鋼環境ソリューション

■問い合わせ先
株式会社神鋼環境ソリューション
人事労政部
TEL : 078-232-8019
E-mail : SKS-saiyo@kobelco.com



水道機工株式会社

水道事業を主軸に100年以上の信頼と実績

1924年の創業以来、人類と地球環境に欠かすことのできない水に関わる事業をおこなってきました。水道シェアの半分以上を占める浄水場はもちろん、海水淡水化施設、水再生センター、ゴミ浸出水処理施設、汚泥再生施設など水処理に関するあらゆる場面で水道機工の高い技術力と製品力が発揮されています。それはひとえに強い志と高い目標を掲げ、人々の生活を支えることへの責任と情熱で、水を見つめ続けてきたからだと考えています。水道機工はこれからの100年も水処理エンジニアリングのリーディングカンパニーとして社会に貢献していきます。



社員一人一人が活躍・チャレンジできる環境

社員一人一人がメインプレイヤーとして活躍できる環境を目指しています。様々な分野の知識を持ち寄り、より良いものを作るプロフェッショナル集団として、大学での学びを活かしつつ水処理のプロになるまでのサポート体制も充実。

若手のうちからチャレンジを推奨する社風があり、早期に知識と経験を活かせる機会が豊富です。実際に若手同期グループで浄水場案件をやり遂げ社長賞を受賞した実績も。技術力を磨きながら、自分の意識次第でより高い領域に挑戦できる面白さとやりがいがあります。

先輩からのメッセージ



「たくさんの人の生活に関わる仕事がしたい」という想いから水業界を志望。気さくで話しやすい職場の雰囲気と、始めから終わりまで一つの仕事に携われる点、多様な製品・技術に触れられる環境に惹かれて入社しました。

現在は水処理装置や水処理プロセスの開発および製品改良を担当。計画から実験、報告、製品化後のアフターフォローまで一連の開発業務に携わり、各テーマのプロフェッショナルを目指せる点が魅力です。

社内は気さくな人が多く、困った時にすぐ相談できる環境。定例部会での進捗共有や、業務だけではなく趣味の話も共有するなど、コミュニケーションを大切にする文化が業務の円滑な連携につながっています。

担当テーマをとことん追求でき、周りの協力を得ながら自分なりに考えて行動できることにやりがいを感じています。水道業界トップクラスの製品数があるところも魅力。幅広い製品案件に積極的にチャレンジしたいです。多くの人の生活に関わる水業界の仕事で、皆さんと一緒に働けることを楽しみにしています。

採用情報はこちら



■問い合わせ先
 新卒採用担当 TEL : 03-3426-2138
 E-mail : saiyo.skk.mb@suiki-g.com
 HP : <https://www.suiki-recruit.jp/>



住友重機械エンバイロメント株式会社

水処理で、守る、支える、創る

「当たり前」を支える技術ほど、その革新は見えにくい。生活に欠かせない安全な上下水道処理、工場を止めない産業用水・排水処理。この「官公庁向け水処理事業」と「民間向け水処理事業」という社会の根幹を、住友重機械エンバイロメントは高い技術力で支えています。水処理プラントの提案、設計、建設から単体機器の提供、さらには施設の運転維持管理までを一貫して担う「水処理のトータルソリューションカンパニー」として、生活や産業に不可欠な「水」インフラを守る事業を担ってまいりました。そして今、その実績と高度な技術力を礎に、未来の環境課題を解決し、持続可能な社会を作る事業へと進化させようとしています。



本社:大崎ガーデンタワー
(品川区)

環境課題への戦略的挑戦

気候変動やSDGsへの意識の高まりとともに、水処理プラントには従来の役割に加え、新しい付加価値が強く求められています。一例としては、CO2削減やカーボンニュートラルへの貢献、老朽化が進むインフラへの対応です。

当社では、水処理プラント技術を核として、これらの課題を解決するための戦略的なイノベーションを推進しています。その取り組み例を紹介します。

- 梅調味廃液を利用したバイオガス発電型嫌気性廃水処理システム
- リン吸着パイオ炭によるリン回収および炭素貯留技術実証研究
- 使用済み紙おむつの完全マテリアルリサイクルに関する事業連携
- DBO方式による既存施設を活かした処理能力と電力使用の効率化を実現

これらの事例は当社社員がお客様や地域、大学や研究機関、企業と連携し、現在の課題から未来のニーズを見据えた、オープンイノベーションの結実です。私たちはパートナーシップを重視し、より安定した水処理インフラの提供と社会の発展に貢献してまいります。

高い専門性を育む人材育成と多様なバックグラウンド



水処理プラントの課題解決には幅広い知識と高い技術力が不可欠です。

当社では、生物学、衛生工学をはじめ、機械、化学、航空、電気・電子、土木など多岐にわたる分野の技術者が結集し、強みを活かしながら協働しています。様々なバックグラウンドをもつ社員が広い知識を身に付け、高い技術力を発揮できるように教育と環境づくりに力を入れています。新入社員教育では「導入3カ年教育」を用意しており、水処理の基礎から応用まで丁寧に研修をします。OJTでは先輩社員のもと、副担当、主担当としての経験を積み、実践を通じて知識と背景まで深く習得し、得た知識を活用することを重視しています。皆さんの専門知識と、当社の人材育成によって、未来の課題まで見据えた、本質的な提案ができるエンジニアを目指していただきたいと考えています。

住友重機械エンバイロメントには、社会貢献性の高いプロジェクトに若いうちから携われるチャンスがあります。そして、その挑戦を支え、プロフェッショナルへと育てる環境と文化があります。

私たちと共に、水の未来を創造しませんか。

住友重機械エンバイロメント株式会社

■問い合わせ先

人事総務部 新卒採用担当 TEL : 03-6737-2700

E-mail : GR.SHIEV.CA.PGA.saiyou@shi-g.com

ホームページ : <https://www.shiev.shi.co.jp/>



新卒採用情報サイト：
住友重機械工業（株）



YouTube【住友重機械】
WE ARE スミジュウ

セントラル科学株式会社

“水質測定”はすぐそこに

上下水道における水処理のほか、私たちの生活に身近なスマートフォンや食品、医薬品などの製造工程においても水質管理はとても重要です。その水質管理に必要不可欠なのが「水質測定器」であり、セントラル科学は創立から約60年間に渡り「水質測定器」の専門企業として水環境の保全や発展に貢献しています。



本所で飼っている淡水魚の水槽
今日の水質をチェック ✓💧

1人1人が輝けるセントラル科学

弊社では日々、製品知識とこれまでの納入事例をもとに部署間で連携しながらお客様へ最適な水質測定器を提案しています。お客様の課題を聞き解決の糸口を探る際には、皆さんが学んでいる水環境の知識が活かれます。専門知識以外にも、海外取引先とのコミュニケーションに語学力が、製品プロモーションにマーケティングスキルが活かせるなど、1人1人が活躍できる場所があります。

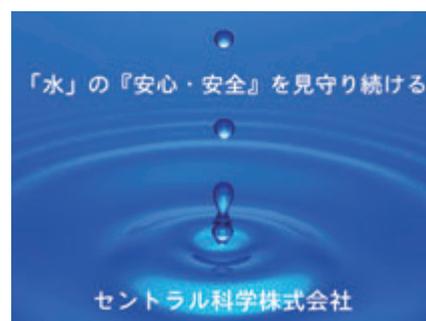
〇〇がセントラル科学のよいところ

20～30代が中心の職場はわきあいあいとした雰囲気があり、同時に若手が活躍できる環境でもあります。利益が出た分は期末手当のほか、休業日を設けてイベントを開催し社内交流が行われるのも、当社の特徴の一つです。

採用担当からのメッセージ

水環境に関わる仕事の中でも「水質測定器」を扱っているからこそ、水を使用するすべての市場がお客様になります。上水・下水といった社会インフラのみでなく、食品・化学・化粧品・機械・製薬など多種多様な産業の発展に幅広く貢献したい方におすすめです。

水環境に携わりたい方、コミュニケーションを取ることが好きな方、語学力を活かしたい方など、まずはお気軽にご連絡ください！



■問い合わせ先
セントラル科学株式会社 総務部
TEL：03-3812-9186
E-mail：central@aqua-ckc.co.jp
HP：https://aqua-ckc.jp/

採用情報は
こちらから!



株式会社ダイキアクシス

社会に貢献する安心と快適を支える企業

ダイキアクシスは1958年の創業以来、「環境を守る。未来を変える。」をミッションに掲げ、国内外で事業を展開する環境創造開発型企業です。

浄化槽などの水処理施設を開発・製造・販売し、生活排水や産業排水を浄化して自然に返す「水環境インフラ」を構築し、人々の暮らしと地球環境を守っています。設計・施工・保守管理から水質検査やメンテナンスまでトータルで対応し、地域に根ざした水処理の仕組みづくりに取り組んでいます。

さらに、住宅設備や建設材料の販売・施工、再生可能エネルギー事業、ウォーターサーバーの製造・販売など幅広く事業を展開しています。

海外展開にも注力し、日本の技術とノウハウを活かして発展途上国の水処理インフラ整備にも取り組んでいます。



たくさんの失敗の先にある“開発の楽しさ”



開発は、製品のコンセプト立案から具体的な仕様を決定するまでの仕事です。生活排水をどうやって浄化するのか、その手法（処理方式）や構造・大きさを考え、それが実際に意図したとおりにできるかどうかを試験によって検証し、製品の最終形態を決定します。

開発の段階では実験結果など思ったようにならないことも多いですが、自分の頭の中で空想したものが“モノになる”ことが何よりも楽しいと思えるから、心折れずに「最後まで作りたい」という意思を持って取り組みます。

最近、開発部門にも若い社員が増えてきました。これまでは実務担当者として自分の好きなことをさせてもらっていましたが、今になって周りの方のたくさんのフォローがあって自分の仕事ができていることに気付きました。これからは自分がフォローする立場になって、自分自身のスキルアップを図りながら後輩たちにも指導し、開発の楽しさを伝えていきます。

“採用教育”で成長できる機会提供を

ダイキアクシスでは、「学生の成長支援を通じた採用活動」をしたいという思いから、インターンシップ（対面型職場体験）、面談等を実施し、学生に寄り添ったフィードバックまで行います。

入社前に自社が取り組んでいる事業はいかに世界に大きな影響があるかを学ぶことで、自社が営む事業を自分ごととして捉えることを目的とし、インドネシアのバリ島で内定者海外研修を行っています。多くの体験を積むことで、自分たちで考え発信する力を養ってもらうことを期待しています。



■問い合わせ先

株式会社ダイキアクシス

人事部 採用教育課 採用担当

TEL：089-927-3330

E-mail：recruit@daiki-axis.com

採用情報はこちら！
エントリー受付中です。



株式会社中央設計技術研究所

生活に欠かせない「水」を支えるお仕事です！

先輩からのメッセージ (西井 里咲さん/本社水道部 2021年入社/金沢大学 理工学域 環境デザイン学類卒)

【なぜ、就職先に中央設計技術研究所を選んだのか】

大学で学んだ知識を活かせる職種の中で、専門性を深められる建設コンサルタントに興味を持ちました。その中でも、地元・金沢に拠点を置きながら全国各地の業務に携われる点に魅力を感じ、中央設計を志望しました。また、建設コンサルタント業界では女性の割合が少ない会社が多い中、中央設計は女性比率が4割を超えており、長く安心して働ける環境が整っている点も決め手の一つです。



【中央設計技術研究所では、どのような仕事をしているのか】

水道部に所属し、水道事業ビジョンや経営戦略の策定を支援する計画業務や、浄水場や送配水管の詳細設計業務を担当しています。水道事業は、人口減少に伴う水道使用量の減少、物価高騰、既存施設の老朽化など、さまざまな課題を抱えています。そのため、一つ一つの業務の背景にある課題を踏まえたうえで、技術者としてよりよい提案や設計につなげられるよう、日々取り組んでいます。生活に欠かせない「水」を支える仕事であり、やりがいを感じています。

【これからの目標と後輩への就活アドバイスを】

水道部の業務は幅広く、まだ経験のない分野も多くあります。今後は一つずつ経験を重ね、どのような業務にも対応できる技術者になることを目指していきたいです。就職活動については、「百聞は一見に如かず」という言葉の通り、実際に会社を訪れ、自分の目で見て感じる事が大切だと思います。積極的にインターンシップに参加し、会社の雰囲気や働き方を体感することが、納得のいく就職先選びにつながるはずです。

採用担当者からメッセージ

私たち中央設計技術研究所が提供する技術サービスは、人々が生活する上で欠かすことのできないものです。

創立78年以上の歴史の中で培われた技術をベースとして、IT技術や先進技術を駆使し、「水と環境」の事業全般に関わっています。

社員に対する処遇も大手企業に並ぶ水準を保っています。さらに、売上高、社員数ともに、日本海側で有数のコンサルタントとして評価を頂いています。

「水と環境」というフィールドで、将来のプロフェッショナル・エンジニアを目指して、自分の可能性を試したい方は、是非私たちと一緒に働いてみませんか？



地域創水で、地方創生を。

株式会社 **中央設計技術研究所**
Chuo Sekkei Engineering Co., Ltd.

■問い合わせ先

〒920-0031 石川県金沢市広岡三丁目3番77号 JR金沢駅西第一NKビル7階

TEL : 076-263-6464 E-mail : cs_webmaster@cser.co.jp

URL : <https://www.recruit.cser.co.jp/>



MSA-QS-654
MSA-ES-53
MSA-AS-2
MSA-IS-715



ISMS-AC
ISMS 15011



MS
JAB
CM024

株式会社 千代田コンサルタント

事業概要

当社は、1962年に創業以来、橋梁を出発点とする構造、道路、都市計画分野を中核とし、トンネル、施設、景観デザイン、環境、下水道及び河川分野等に至るまで、幅広い技術を提供している「総合建設コンサルタント」です。地球温暖化への待ったなしの対応、多発する自然災害、少子・高齢化などの社会現象等に対して、建設コンサルタントに求められる役割は益々大きなものとなっています。

私達は「社会から求められる社会に貢献する優れた技術者集団」として“安心・安全な国土と活力ある地域づくりの実現”に向けて取り組んでいます。

仕事内容

当社は、総合コンサルタントとして有する幅広い技術から水環境というテーマに関わっているのが特徴です。このため広い視点で水環境をみつめ、問題・課題に取り組むことができます。

そのなかでも環境・下水道・河川分野の役割は重要です。

水質・水量保全の観点では、環境調査の実施、汚水適正処理等の計画立案、下水道施設（污水处理場、管渠等）の設計、さらに豪雨災害による水質悪化の抑制に対して浸水・治水対策にも力を入れています。また、グリーンインフラの導入に向けた提案なども行います。

水生生物や水辺地の保全・創造に対しては、動植物などの生態系調査はもとより、河川環境整備計画の立案、親水性の高い河川空間の提案、さらに地域文化と水環境をまちづくり資源として活用するための提案なども行います。

地球温暖化防止への対応としては、再生可能エネルギーの利活用についても積極的に取り組んでいます。



先輩社員の声

千代田コンサルタントは、思いやりとチームワークを大切にする伝統的な社風を基盤に、高い技術力と創造力を有した会社です。当社は事業分野ごとに取り扱う業務が大きく異なりますが、複数の分野を跨ぐ事業では各チームが垣根を越えて、技術力を結集させ、業務を遂行することができます。これは「総合建設コンサルタント」ならではの強みと認識しております。また、個人がやる気とチャレンジ精神を有していれば、難しい事業への参加や分野を越えた経験を積むことができ、個人の成長に繋がられます。大変な時期もありますが、厳しくも温かい上司や諸先輩方の存在により前を向いていきます。

今後も安心・安全で潤いのある美しい国・地域づくりに貢献して行きたいと考えています。



～安心・安全な国土と活力ある地域づくりの実現を目指して～



START for Tomorrow

株式会社 千代田コンサルタント

■問い合わせ先 採用担当

TEL : 03-3527-1013 E-mail : saiyou@chiyoda-ec.co.jp



HP



YouTube



Instagram

月島JFEアクアソリューション株式会社

「下水汚泥の有効利用」No.1。^(※)水インフラを支える機械・プラントメーカーです。

「月島 JFE アクアソリューション株式会社 (TJAS)」は 2025 年に創業 120 年を迎えた「月島機械」の水環境事業と、「JFE エンジニアリング (JFEE)」の国内水エンジニアリング事業部門が統合した会社です。

両社が強みを持つ下水汚泥処理や焼却技術の融合、JFEE の浄水処理技術と月島機械の排水処理技術による相互補完で競争力を高めます。メーカー兼エンジニアリング会社として、水をきれいにするだけでなく、創エネルギー技術の開発や、バイオマスなどの再生可能エネルギー事業を強化し、地域社会に貢献します。私たちは、上下水道分野におけるリーディングカンパニーを目指します。

※当社調べ



「人」を大切に「地球環境」を守る

インフラ業界全体で、現場の高齢化は深刻な問題となっています。

TJAS では遠隔監視や AI 活用による省力化に取り組みながら、充実した福利厚生や柔軟な働き方に力を入れています。社員一人ひとりが「ずっと働きたい」という思いを持ち、その幸せが会社の成長や脱炭素社会の構築へ寄与する、そんな会社を創っていきます。



みずから、これから。

月島JFEアクアソリューション株式会社

■問い合わせ先

新卒採用担当 TEL : 03-5547-8400 E-mail : recruit_tjas@tjas.co.jp



当社募集ページ

月島ジェイテクノメンテサービス株式会社

「何事もない日常」を支える技術者集団

「水」に関して私たち日本の暮らしは、世界トップレベルの快適さを保っていると言うことができるでしょう。顔を洗うにも、お風呂に入るにも、そして飲料としても安全な水道水がいつも安定して提供され、トイレや調理で出る排水は適切に処理をされています。

それらの「何事もない日常」を支えているのが、私たち月島ジェイテクノメンテサービス（以下 TJTM）の仕事です。TJTM は全国約 130 カ所の上下水道関連の施設運営・管理を行い、皆さんの日常を支えています。「ライフラインを守ることで仕事そのものが社会貢献に繋がる」。TJTM はそんな誇り高き技術者集団です。ライフラインを守る事業の一方で、下水汚泥燃料化や消化ガス発電といった廃棄物を新しいエネルギー資源として有効活用するなど、地球環境問題に対する新たな取り組みにも挑戦しています。



「運転管理事業」と「補修・設備工事事業」の2本柱で展開



TJTM の主な事業として、快適な生活を 24 時間・365 日提供できるように、上下水道の業務全般に携わり、環境にやさしい水を提供している「運転管理事業」と、上下水道処理施設に設置している機械の補修工事や新規設備工事を行う「補修・設備工事事業」があります。「運転管理事業」では、全国にある上下水道処理施設の運転監視、点検整備（保守点検・維持修繕）、管理・巡回点検、水質管理等を実施しており、直接的に人々の生活を支えています。「補修・設備工事事業」では、プラント設備の計画から試運転まで携わるため、工事終了後は自分で携わったものが「形」となって残ります。上下水道処理施設は、人々の生活に欠かせないインフラです。TJTM の技術とノウハウを活かし、社員一人ひとりが責任感と使命感を持って、人々の生活や安心して暮らせる環境を支えています。

「人」が最も大切な財産

TJTM は技術の会社であり、会社をあげて皆さんの入社後の能力開発を全面的にバックアップしていきます。それは、何よりも「人」が一番の財産という理念があるからです。特に世代ごとの能力開発を促す「手づくりの教育」が特徴的であり、人材育成教育を積極的に展開しています。また資格取得のための助成制度の仕組みも充実しているほか、会社生活を楽しく過ごすための部活動も活発に行われています。現在は、野球、サッカー、フットサルなど多岐にわたり実施し、縦横の繋がりを大切にしています。人間が生活していく上で必要不可欠な「水」。決して華やかで脚光を浴びる業界ではありませんが、強い使命感を担った TJTM で一緒に頑張りましょう。



月島ジェイテクノメンテサービス株式会社

■問い合わせ先

人事部採用教育課

TEL : 03-5245-7161 FAX : 03-5245-7166

E-mail : tjtm_saiyo@tjtm.tjas.co.jp



内藤環境管理株式会社

化学分析業から快適環境創造業へ

私たちは昭和47年に、「正確・迅速・親切」を基本コンセプトとして、気軽に利用できる化学分析専門会社を目指してスタートしました。経営理念の「快適環境創造に生きるデータ 役に立つ科学技術を提供し 人類社会に貢献することが 私たちの使命です」にあるように、お客様の快適環境創造のパートナーを目指しています。

事業内容・当社の取り組み

主な業務内容：①環境管理に伴う調査・測定・化学分析②ビル管理に伴う水質検査・空気環境測定③水道法第20条に基づく水質検査④製品開発・品質管理に伴う化学分析⑤アスベスト・PCB等の化学分析⑥労働衛生管理に伴う作業環境測定⑦土壌分析・建設発生土（残土）分析

有資格者：環境計量士 10名、作業環境測定士 14名

研修・教育・活動：若い社員の育成につながる取り組みとして、快適環境創造研究会（9のプロジェクト）【お客様のパートナーになるべく、情報提供と課題解決のための活動】、学会・研究会への参加、研究発表、外部研修、環境計量士を目指す人向けの社内勉強会の実施等

ワークライフバランス：計画的に年休を取得する体制づくり（5日間の長期休暇制度）



先輩の声

- ・会社説明会で「若い社員でもチャレンジする機会は平等にあります」という言葉を聞き、当社を志望しました。自分の志さえあれば、社内外において学生時代に学んだ分野とは違ってチャンスをもたらえる環境が当社にあります。（技術職 男性社員）
- ・自分が学生のときに学んだことが活かせると思い、当社を志望しました。会社見学で、若い人達が生き生きと仕事に取り組んでいると感じました。お客様から相談された時、学会での発表等にチャレンジすることが、やりがいに繋がっています。（技術職 男性社員）
- ・学生時代に興味があった機器分析を仕事とすることができ、しかも環境に関われるということで当社に興味を持ちました。資格を持っている人が多く技術力が高いと思ったことが志望動機です。外部に自分の知識と技術力を活かした情報を発信することができることもやりがいの一つです。（技術職 男性社員）
- ・外部研修に参加できる機会が多いです。学生時代に使用していない機器でも、メーカー主催の研修等に参加することで、取り扱いを詳しく教えてもらうことができます。毎日業務を行うなかで、様々な試料を分析し、なぜそのような結果が出たのかを考えた時に、それぞれ異なる要因や他の物質との関係性が見えてくるのが面白いです。（技術職 女性社員）



The Knights of Environmental Science
内藤環境管理株式会社

■問い合わせ先
内藤環境管理株式会社 総務部
TEL:0120-01-2590
E-mail:admi@knights.co.jp



株式会社日水コン

日水コンの目指す姿は「水のインパクトカンパニー」

日水コンは、1959年の創業以来、「水」を専門とする建設コンサルタントとして、上下水道事業を中心に業界をリードしてきました。水道や下水道、河川等の水環境に関わる分野で、常に変化する課題に対応し、新たなソリューションを生み出しています。

今日、水環境をめぐる状況には税収や人材の不足、環境問題、水資源問題、豪雨対策、耐震化等、様々な課題がありますが、これら水に関わる社会課題を解決することが当社の使命であり、事業活動そのものです。私たちは「水のインパクトカンパニー」を目指し、豊かな未来を創造しています。



メリハリのある働き方で安心して働ける職場環境



日水コンでは、社員がメリハリある働き方を実現できるよう、フリーアドレスやICTの活用、在宅勤務、フレックスタイム制度を導入し、柔軟な働き方を推進しています。年次有給休暇は入社時に15日付与され、勤続年数に応じて最大25日まで付与されます。

また、「体」「心」「自信を持って働く」の3つの要素を好循環させる「日水コンWLC (Work Life Circulation)」を体系化し、社員が日々、心身共に健全で充実した状態で働けるよう、環境整備にも取り組んでいます。健康経営優良法人にも認定されており、社員の健康を経営課題と捉え、安心して働ける環境を整えています。

「ミズカラ、カエテイク」のは君たち！

日水コンは「人が資本、人材が生命線」と位置づけ、皆さんの成長を全力でサポートします。

多様な課題を解決する技術力と、常に挑戦し続ける意欲を育むため、キャリアに応じた教育研修制度や部門別の技術勉強会、技術士等の資格取得支援等、充実したサポート体制を整えています。

自ら学び得た「知識・技術・経験」を生かし、会社や社会に貢献したいという「ミズカラ、カエテイク」精神を持つ仲間を求めています。私たちと共に、水インフラの未来を創造し、潤いある社会を築いていきませんか。



潤いある未来へ

株式会社 日水コン nissuicon

■問合せ先
新卒採用担当

TEL : 03-5323-6213 E-mail : saiyou@nissuicon.co.jp



地方共同法人 日本下水道事業団

下水道事業に特化した公的機関です

当事業団は、「下水道ソリューションパートナー」として地方公共団体の水処理・污泥処理施設やポンプ施設などの下水道施設の整備や運営を支援・代行している地方共同法人です。1972年の設立以来、全国に約2200カ所ある下水処理場のうち、約7割にあたる約1500カ所の建設等に関与してきました。

下水道事業が、新設・増設の時代から更新・管理の時代へと大きく構造変化する中、人口減少に伴う地方公共団体の下水道の執行体制の脆弱化への対応が急務となっております。加えて、近年は地震や水害等の自然災害が頻発しており、災害の脅威への強靱化対応の重要性がますます高まっております。

当事業団はこのような状況に対し、持続可能な下水道事業を実現する観点により、政策形成から設計・建設、維持管理に至る事業全般について支援しつつ、PPP/PFI等の新たな事業、頻発する災害への対応、ニーズに応える技術開発、下水道技術者の育成に資する研修等を中心に、下水道のライフサイクル全体にわたる支援をしております。また、下水道におけるDX（デジタルトランスフォーメーション）の推進により技術やサービス、ビジネスモデルの変革を牽引することにより、技術、人材、情報等の基盤づくりを進め、良好な水環境の創造、安全なまちづくり、持続可能な社会の形成に貢献していきます。



下水道に関する幅広い事業を経験することができます

下水道事業の内容は、計画・設計・施工・維持管理など多岐にわたります。当事業団は、地方公共団体と一体となって下水道施設のプランニングを行い、ゼネコンやコンサルタント、設備メーカーなどの企業とともに設計・施工を進めています。東京・大阪の事務所を中心として、全国の地方公共団体を技術的な側面からサポートしています。



充実した人材育成プランを準備しています

下水道事業の実施には、土木や化学・生物だけでなく、機械・電気・建築・経営といった幅広い知識が必要となります。そのため、入社後の人材育成に力を注いでおり、充実した教育研修制度や資格取得に対するバックアップ体制を備えています。学生時代に下水道を勉強していなくても心配ありません。研修は、下水道事業計画の策定から設計や施工、維持管理といった幅広いコースがあり、業務・職種の専門性に応じて受講が可能です。

また、2～3年ごとにジョブローテーションをおこない、各分野の経験を積む機会を設けています。定期的な配置換えにより、様々な業務を経験し、広い視野で事業を俯瞰できる人材を育成しています。

公的な立場から下水道事業の技術者として携わりたい方をお待ちしています。



■問い合わせ先
 日本下水道事業団 新卒採用担当（技術系）
 TEL：03-6892-2009
 E-mail：jsrecruit@jswa.go.jp



日本水工設計株式会社

自治体の技術パートナー

当社は「ずっと もっと 水とともに。」をモットーに、人々の生活を支える水の総合コンサルタントです。自治体の技術パートナーとして、上下水道に関する課題やニーズを丁寧にヒアリングし、調査・計画・設計から事業運営支援まで幅広く担っています。

日常で当たり前に使っている上下水道ですが、現在、さまざまな課題に直面しています。インフラ施設の老朽化をはじめ、豪雨や地震など自然災害の増加、さらに少子高齢化や人口減少による財政基盤の弱体化など、問題は山積みです。だからこそ、水コンサルタントの役割はますます重要になっています。

私たちは「当たり前」を支え、次世代へ継承するために、創業以来培ってきた上下水道整備の豊富な知識と専門的な視点に加え、AI や IoT など最新技術を駆使し、日々多くのプロジェクトに取り組んでいます。



教え合い、成長を支援する働きやすい環境



当社には「教え合う文化」が根付いており、部署や年代を問わず意見や相談がしやすい社風が特徴です。入社間もない若手社員でも積極的に提案でき、その意見がプロジェクトに反映されることもあります。若手のうちから一人の技術者として水インフラ整備に貢献でき、自分の提案がまちづくりに活かされ、人々の生活を支えていることを実感できる、やりがいのある仕事です。

また、ワークライフバランスを重視し、フレックスタイム制度の導入、有給休暇取得の推進、在宅勤務など柔軟な働き方を導入しています。初年度から有給休暇 15 日が付与され、仕事と休暇のオン・オフを大切にしながら働くことができます。

採用担当者からのメッセージ

現在、水コンサルタントの事業フィールドは高度経済成長期の新規建設の時代と比べ、より拡大し、さらに高度化しています。そのため水の専門知識に加え、土木・建築・機械・電気などの分野、さらに財政や経営、IoT に関する知識も重要になっています。

しかし、当社が最も重視するのは「人としての信頼性」です。技術力はもちろん大切ですが、お客様との信頼関係やプロフェッショナリズムも同等に重要です。当社では、社員一人ひとりが高い倫理観と責任感を持ち、真摯で信頼性のあるサービスを提供しています。

キャリア形成と自己成長に積極的な方を、当社は全力でサポートします。ぜひ、日本水工設計の一員となり、人として信頼される技術者を目指しませんか？共に働ける日を心よりお待ちしております。



日本水工設計

■問い合わせ先

日本水工設計株式会社 採用担当
東京都港区三田 3-5-19
TEL : 03-3534-5511
MAIL : recruit@n-suiko.co.jp

積極採用中!
会社説明会受付中
エントリーはこちら



株式会社日立プラントサービス

地球環境に貢献する水・環境ソリューションパートナーをめざし、社会課題を解決する

当社は日立グループの一員として、産業プラント、ライフサイエンス、水インフラなどの分野で、モノづくりの高度化とクリーンな環境・きれいな水の実現に貢献してきました。

今日、SDGs やデジタル化の進展により、社会課題は複雑化しています。そこで私たちは総合エンジニアリング企業として、これまで培ってきた環境制御技術と実績を生かしながら、トータルソリューションでお客さまと一緒に課題解決に取り組んでいます。

当社は、「グリーン」×「デジタル」で新しい価値を生み、持続可能な社会と人々の暮らしをより良くすることをめざしています。



水インフラ

当社の水インフラ事業は、浄水場や下水処理場など、人々の生活に身近で欠かすことのできない『上水・下水道分野』、自動車工場、電子半導体工場など、様々な産業・製品を生み出すために必要な「水」を扱う『産業水処理分野』からなります。

計画・設計から建設、修繕、運営、装置製造や水処理薬品の提供まで幅広く対応し、多様化するお客さまのニーズに合わせた最適なソリューションを提供しています。

これまで培ってきた環境エンジニアリング技術と、水資源を活かすリサイクル技術・デジタル技術による効率化などの最新技術を組み合わせ、地域社会の安心・安全な暮らしと持続可能な環境づくり、カーボンニュートラル社会実現に貢献していきます。



先輩エンジニアの声



「大切なのは、“わからない”があったらまずは頼ること」

私は、産業排水を扱う水処理施設の施工計画や施工管理を行う、産業水処理部に所属しています。現場のひと区画を担当し、そこで工程・機械・電気など、さまざまな分野の方々との調整や施工の管理を行っていくことが主な仕事になります。最初から最後まで現場に関わることは初めてだったので、なにも設備が入ってない状態の工場から、すべての設備が据え付けられて完成したのを見たときは、やりがいのある仕事だなと感じました。わからないことがあったときには、周囲に意見を求めたり、自分で調べたりして、相手に意見をぶつけるようにしています。それは先輩たちも通ってきた道です。一つ一つ経験を、積み重ねていくことこそが、自分自身の成長につながると思います。

最後に、採用グループよりメッセージ

一人ひとりの挑戦する心とチームワークによって、社会・お客さまへ新しい価値を提供し、私たち自身も常に成長していく。この成長のスパイラル（連鎖）こそが当社の力です。

当社の強みであるチームワークと企業の存在価値、仕事の意義、使命感を共有できる仲間を求めています。

HITACHI

■問い合わせ先
株式会社日立プラントサービス
人事総務本部 人財開発センタ 採用グループ
TEL : 03-6386-3001
E-mail : hps.saiyou.np@hitachi.com
HP : <https://www.hitachi-hps.co.jp/>



株式会社フソウ

培った技術と経験を活かし、水インフラにおけるDXや官民連携を推進

FUSO グループは、「FUTURE SOCIETY をつくっていく」をグループビジョンとし、水・住まい・エネルギーの事業領域にてグループ一体で社会課題の解決に取り組んでいます。

当社はそのコア事業である水インフラを事業の主軸としています。少子高齢化に伴う人口減少や技術者不足等の影響により、水道事業の広域化や官民連携が進む中、DX や GX を進める新たな技術を開発しています。



<施設と管路を一貫して手がける総合水インフラ企業>

当社は 1946 年の創業以来水インフラを事業とし、浄水場や下水処理場など水に関わるあらゆる処理施設と水を輸送する管路を一貫して手がけてきました。国内トップクラスに充実した約 7 万点の資機材の販売、上下水道や農業・工業用水、電力用水など、あらゆる用途や施設に対応した鋼管の製造、時代の変化やニーズに対応する技術と研究開発で地域社会に貢献しています。

また、デジタル技術を活用した業務改善と効率化に早くから取り組んでいます。点群データや BIM/CIM による 3D モデル化を推進し、広大な施設の内外を素早く正確に“見える化”することで、安全性向上や工期短縮につなげています。水インフラの DX や GX の最先端を行くトップランナーとして、地域の想いをカタチにする最適なソリューションを展開してまいります。



フソウの事業領域

先輩からのメッセージ「チャレンジを通じて成長できる会社です」

当社は、幅広い業務に携わりたい方、専門性を高めたい方、どちらも挑戦できる会社です。水インフラ施設の設計・施工や維持管理に加え、官民連携にも積極的に取り組んでおり、最新技術の研究開発や海外事業など幅広い事業展開の中で、多様な職種の社員が活躍しています。手を挙げればさまざまな仕事にチャレンジできる会社です。

私は、施工管理や工事を統括する部署を経験後、JWRC（公益財団法人水道技術研究センター）に 3 年間出向しました。JWRC では、事務局の仕事のほか、水道事業者の方々へのヒアリングや、産官学が共同で作成した水道の課題を解決するための事例集やツールの普及活動を行いました。

水インフラの地域課題への理解が深まり、水道事業を運営する視点を知ることができました。帰任後は、ウォーター PPP を中心とした官民連携に関する営業活動や情報収集の業務を行っており、産官学の枠を超えた交流と仕事の経験が今の仕事に繋がっていることを実感しています。



PPP 本部 久保さん

水をつくる、いかす、考える。



株式会社フソウ

■問い合わせ先

株式会社フソウ 総務人事部 採用担当

TEL : 03-6880-2113

E-mail : saiyo@fuso-inc.co.jp



株式会社明電舎

事業の概要

明電舎は1897年（明治30年）に創業し、128年の歴史を持ちます。電力、水処理、鉄道・交通など幅広い社会インフラ分野を電気技術で支えてきました。

水インフラ分野では、上下水道プラント向けの監視制御装置や受変電設備、さらには太陽光・小水力といった再生可能エネルギー関連製品、水クラウドコンピューティングを活用したシステムなどを提供し、施設運用の安定化や業務効率化に貢献しています。

近年は増加するゲリラ豪雨に対応するため、ICT・IoT・AIを取り入れた都市浸水対応システムや予測技術、さらに複数施設をまとめて管理する広域監視や運転操作支援などDX化にも力を入れています。また、上下水道や工業排水再利用に活用できる省エネ性・耐久性の高いセラミック膜を国内外で展開し、環境負荷の低減にも取り組んでいます。



仕事内容、プロジェクトの事例

当社では、上下水道プラント用電気設備の設計、製造、据付工事、施設の維持管理を含めトータルにサポートし、これらに直接携わることができます。お客様の業務改善や効率化、新たな価値を創造する設備を提案し、受注につなげることも重要な業務です。

防災関連では、管きょ情報をリアルタイムに「見える化」するための、下水道管きょ用IoTデバイス「マンホールアンテナ」とIoT防災監視サービスの連携により、都市浸水リスクを可視化する取り組みを自治体と共同で実施しています。

水処理関連でも国からの委託事業や自治体との共同研究を積極的に推進しています。技術継承の課題に対して熟練技術者のノウハウをAI化し下水処理場で実稼働させる実証事業を実施しAI技術の普及を図っています。また、ICTによる下水施設の広域監視、窒素除去技術、膜ろ過技術などの研究・実証を進め、設備の効率化と環境負荷低減に貢献しています。

先輩社員の声

明電舎は技術＋人財＋デジタルを組み合わせ「環境」「安全」「社会の利便性」という社会価値を創出しつつ、それを支える基盤（技術力・ガバナンス・人的資本）を強固にすることで、持続可能な企業価値を高める経営を実践しています。

水インフラ分野においても、これらの社会価値の創出に貢献しています。また、ウェルビーイングを実現するため、多様な価値観を持った皆様が活躍できる環境整備や時代に合った働き方を推し進めています。さらに当社では、若手のうちからお客様と接し、成果を公表し、最先端の研究開発に携わることが可能です。

明電舎の「舎」は「志を同じくする者が集う場所」という意味です。我々とともに活動し、将来にわたり社会インフラを支え創造する人財を待望しています。



MEIDEN
Quality connecting the next

■問い合わせ先
人事統括本部 人事企画部 採用推進課
TEL：03-6420-8504（採用代表）
URL：<https://www.meidensha.co.jp>



日本水環境学会年会における 学生会員向けの企画について ～産官学協力委員会～

日本水環境学会では、水環境分野の幅広い研究の発展と会員相互の情報交換を促進するため、毎年春に年会を開催しています。年会には毎年1,400人前後が参加し、600件以上の研究発表が行われ、活発な議論が行われているほか、学生会員向けの企画として、民間企業や公的機関の若手技術者が水環境に関わる仕事の魅力などを学生に紹介する「水環境ビジネスガイダンス」、水環境分野への就職を希望する学生を対象とした「会員企業・研究機関等就職説明会」といったプログラムを実施しています。ここでは、それぞれの概要を紹介します。

水環境ビジネスガイダンス

本企画は、日本水環境学会に参加する学生を対象として、水環境に関わる仕事の第一線で活躍する技術者から、仕事の内容・やりがい等について、生の声を聴くことができるランチオンセミナーです。



「水環境ビジネスガイダンス～水環境の仕事に興味のある学生の皆さんへ～」をテーマに、個別企業の宣伝ではなく、水環境に関連する業界（公的機関、プラントエンジニアリング、コンサルティング、ゼネコン、化学品（膜を含む）、装置・分析機器の製造・販売等）の仕事について、経験を交えて紹介し、学生が水環境関連の仕事に興味を持つきっかけとしてもらうことを目的としています。

平成19年度より開催され、19回目を迎える今回は、年会初日に以下のとおり予定しております。ぜひお気軽にご参加ください。

日 時	2026年3月9日(月) 12:50～13:55
会 場	8205 教室 (8号館)
参加費	無料 (お弁当・お飲み物付き)
参加方法	直接会場にお越しください (先着100名)

会員企業・研究機関等就職説明会

本説明会は、水環境分野への就職を希望する学生の皆さんを対象とした合同説明会です。日本水環境学会に所属する会員企業・研究機関等が直接説明を実施いたします。説明会は第60回年会3日目の午後に現地での開催を予定しております。

本説明会は、すべての参加団体が1つの会場で会社概要を説明するショートプレゼンテーションと参加団体の個別説明会という2部構成で実施します。ショートプレゼンテーションで水環境分野



にどのような仕事があるか確認し、気になる団体の個別説明会に参加いただくことも、どちらかのみ参加いただくことも可能です。

本説明会は過去に7回実施され、いずれも多くの学生の皆さんに参加いただいております。「水に関連する企業が集中していて業界研究に役立った」、「水環境に関わる広い職種についての話を聞くことができた」、「各企業の様々な立場の方の話を聞いた」といった声が寄せられています。

比較的少人数での説明会となっていますので、採用担当の方などから詳しい話を聞くことができるいい機会になるかと思えます。是非、いろいろな企業・研究機関の話を聞き、水環境分野の様々な仕事について理解を深めてみてください。

本説明会は水環境に関する仕事に興味がある方であれば、来年度就職活動の対象外の方や非会員の方でも無料で参加可能です。

<実施概要>

- 日 時 : 2026年3月11日(水) 13:00 ~ 15:00
- 場 所 : 中央大学多摩キャンパス 7号館 (東京都八王子市)
- 参加団体 : 12 団体程度
- 参加費 : 無料

*年会への参加登録がない方でも参加可能です

- 事前申込 : 不要

※実施にかかる詳細は、学会 HP (<https://www.jswe.or.jp/>) 等をご確認ください。

公益社団法人日本水環境学会 団体会員

(2026年1月1日現在)

愛知県環境調査センター

アイデックスラボラトリーズ株式会社

青森県

株式会社秋田県分析化学センター

アサヒグループエンジニアリング株式会社

アジレント・テクノロジー株式会社

石川県

いであ株式会社

茨城県霞ヶ浦環境科学センター

茨城県企業局

岩手県環境保健研究センター

(公社)岩手県浄化槽協会 岩手県浄化槽検査センター

株式会社ウエリントラボラトリーズジャパン

株式会社 ウォーターエージェンシー

宇部マテリアルズ株式会社

ABCプランニング株式会社

株式会社 NJS

荏原実業株式会社

大分市上下水道局

大阪市建設局

オリジナル設計株式会社

オルガノ株式会社

(公財) 海洋生物環境研究所

花王株式会社

香川県環境保健研究センター

鹿島建設株式会社

(公財) 河川財団

神奈川県企業庁 企業局

神奈川県内広域水道企業団

カナデビア株式会社

川崎市環境局環境総合研究所

川崎市上下水道局

北九州市保健環境研究所

北里大学獣医学部 図書館

株式会社九州開発エンジニアリング

京都市上下水道局

京都大学 桂図書館

協和機電工業株式会社

株式会社クボタ

熊本県保健環境科学研究所

栗田工業株式会社

神戸市健康科学研究所

株式会社コープクリーン

(公財) 国際エメックスセンター

国土交通省東北地方整備局 東北技術事務所

サーモフィッシャーサイエンティフィック株式会社

埼玉県環境部

埼玉県水質管理センター

(一財) 佐賀県環境科学検査協会

札幌市下水道河川局

札幌市水道局

三機工業株式会社

(一社) 産業環境管理協会

サントリーグローバルイノベーションセンター株式会社

株式会社三祐コンサルタンツ

JFE アドバンテック株式会社

滋賀県琵琶湖環境科学研究所

静岡県環境衛生科学研究所

株式会社神鋼環境ソリューション

(国研) 水産研究・教育機構 水産技術研究所

水道機工株式会社

水ing株式会社

住友重機械エンバイロメント株式会社

(独) 製品評価技術基盤機構

西部環境調査株式会社

積水化学工業株式会社

セントラル科学株式会社

株式会社総合水研究所

株式会社ダイキアクシス

大成建設株式会社

株式会社ダイセル

ダイセン・メンブレン・システムズ株式会社

株式会社タクマ

千葉県企業局

株式会社中央設計技術研究所

中外テクノス株式会社

月島JFE アクアソリューション株式会社

(一財) 電力中央研究所

サステナブルシステム研究本部

東亜グラウト工業株式会社

東亜ディーケーケー株式会社

東京水道株式会社

株式会社東京設計事務所

(公財) 東京都環境公社

東京都環境科学研究所

東京都下水道局

東京都下水道サービス株式会社

東京都健康安全研究センター

株式会社東芝

株式会社東洋環境分析センター

東レ株式会社

(一社) 土壌環境センター

富山県環境科学センター

内藤環境管理株式会社

長崎県環境保健研究センター

長野県諏訪湖環境研究センター

名古屋市環境科学調査センター

奈良県景観・環境総合センター

株式会社西原環境

株式会社日水コン

日本製鉄株式会社

日本海環境サービス株式会社

(公財) 日本環境整備教育センター

(公社) 日本下水道協会

地方共同法人 日本下水道事業団

(公財) 日本下水道新技術機構

日本水工設計株式会社

(公社) 日本水道協会

日本石鹼洗剤工業会

(国研) 農業・食品産業技術総合研究機構

配水用ポリエチレンパイプシステム協会

阪神水道企業団

ビーエルテック株式会社

株式会社日立製作所

株式会社日立プラントサービス

(公財) ひょうご環境創造協会

兵庫県農政環境部

(一財) 広島県環境保健協会

(公財) 琵琶湖・淀川水質保全機構

福井県衛生環境研究センター

福岡市保健環境研究所

福島県環境創造センター

株式会社フジタ 技術センター

株式会社フソウ

フナテック株式会社

前澤工業株式会社

三菱ケミカル株式会社

三菱ケミカルアクア・ソリューションズ株式会社

(公社) 宮城県生活環境事業協会

宮城県保健環境センター

株式会社明電舎

メタウォーター株式会社

株式会社ヤクルト本社 中央研究所

株式会社ヤマト

横河電機株式会社

横浜市下水道河川局

横浜市水道局

ライオン株式会社

ワセダ技研株式会社

マークの会員情報が掲載されています

公益社団法人日本水環境学会について

日本水環境学会は1971年に日本水質汚濁研究会として設立され、81年の社団法人化、91年の日本水環境学会への改称、2012年の公益社団法人化を経て、現在に至っています。当学会は、水環境に関連する分野の学術的調査や研究、知識の普及、健全な水環境の保全と創造への寄与、学術・文化の発展への貢献を活動目的としており、学術雑誌の発刊、年会とシンポジウムの開催、各種表彰活動、英文学術雑誌の発行や国際会議などの開催、セミナーの開催などを行っています。2026年1月現在の役員等は下記の通りです。

会 長	亀屋 隆志				
副 会 長	中島 典之	藤原 拓	江口 正浩		
常務理事	栗栖 太				
理 事	井坂 和一	井上 大介	今井 剛	越後 信哉	大河内 由美子
	岡部 聡	佐藤 久	佐野 大輔	島村 和彰	新矢 将尚
	清 和成	高岡 昌輝	高島 正信	高見 徹	田畑 彰久
	中井 智司	中野 和典	見島 伊織	山口 太秀	山村 寛 吉田 浩介
監 事	久場 隆広	中井 里史	渡邊 智秀		
顧 問	迫田 章義	古米 弘明	小野 芳朗	松井 佳彦	西嶋 涉 池 道彦
運営幹事	浅田 安廣	井口 晃徳	大石 若菜	小野寺 崇	春日 郁朗
	蒲池 一将	金田一 智規	鈴木 裕識	長谷部 吉昭	端 昭彦
	羽深 昭	濱 武英	原 宏江	久本 祐資	日高 平
	藤井 学	藤岡 貴浩	藤林 恵	三宅 祐一	宮本 信一
	矢吹 芳教	利谷 翔平	渡部 春奈		

水環境企業・研究機関情報誌に関する本学内の問い合わせ

■水環境企業・研究機関情報誌への掲載について

『採用活動において、弊社を何で知ったのか?の問いに「水環境学会で配布された冊子」と回答があり、非常に効果があることが分かった』

掲載会社からいただいたコメントです。

水環境企業・研究機関情報誌は年1回発行しております。

掲載を検討される企業におかれましては、ぜひともお問い合わせください。

問い合わせ連絡先は以下の通りです。

◆水環境企業・研究機関情報誌：

編集協力（問い合わせ先）：日本水道新聞社 出版企画事業部 03-3264-6724

企画・発行 **公益社団法人日本水環境学会**

<https://www.jswe.or.jp>

〒135-0006 東京都江東区常盤2-9-7 グリーンプラザ深川常盤201

TEL 03(3632)5351 FAX 03(3632)5352

編集 株式会社日本水道新聞社